

『車の使用に関する緊急アンケート調査』結果

1. 調査概要

- ・対 象：全国の18歳以上の自動車保有者
- ・方 法：インターネット調査（JAFホームページにて掲載）
- ・調査期間：平成20年7月9日（水）～7月31日（木）
- ・回答者数：1,285人

※円グラフ及び帯グラフの構成比を表示したグラフでは、各数値を四捨五入しているため、合計が100%にならないことがある。

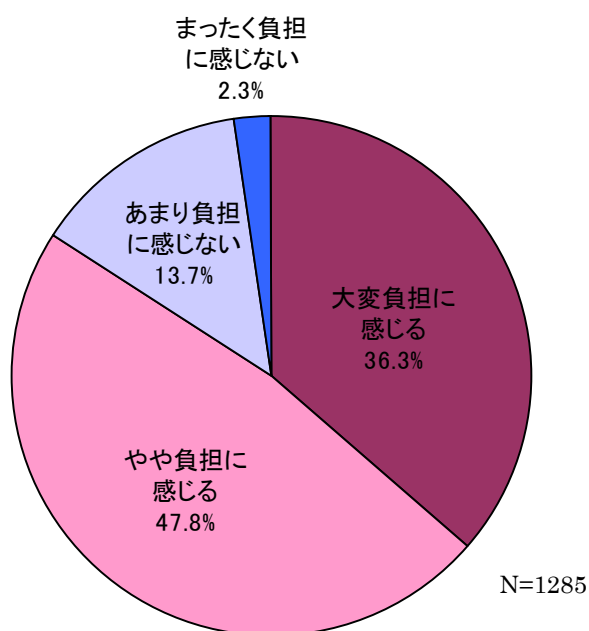
2. 設問

- Q1. あなたは自動車を保有する、または使用する上で、負担感を感じますか？
- Q2. 負担が増えたことによって、車の使い方や普段の生活に変化がありましたか？
- Q3. 車の使い方や普段の生活でどのような変化があったか具体的にお答えください。

3. 結果

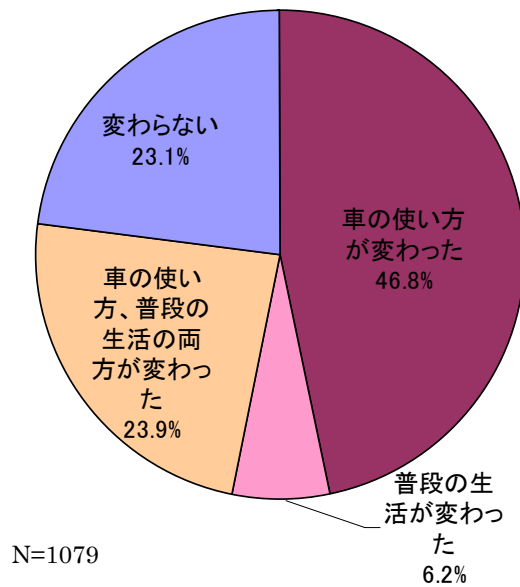
(1) 自動車を保有・使用するうえでの負担感

『大変負担を感じる』人が36.3%と3人に1人が大きく影響を受けており、『やや負担を感じる』47.8%とあわせ、84.1%の人が車の保有・使用に負担を感じている。



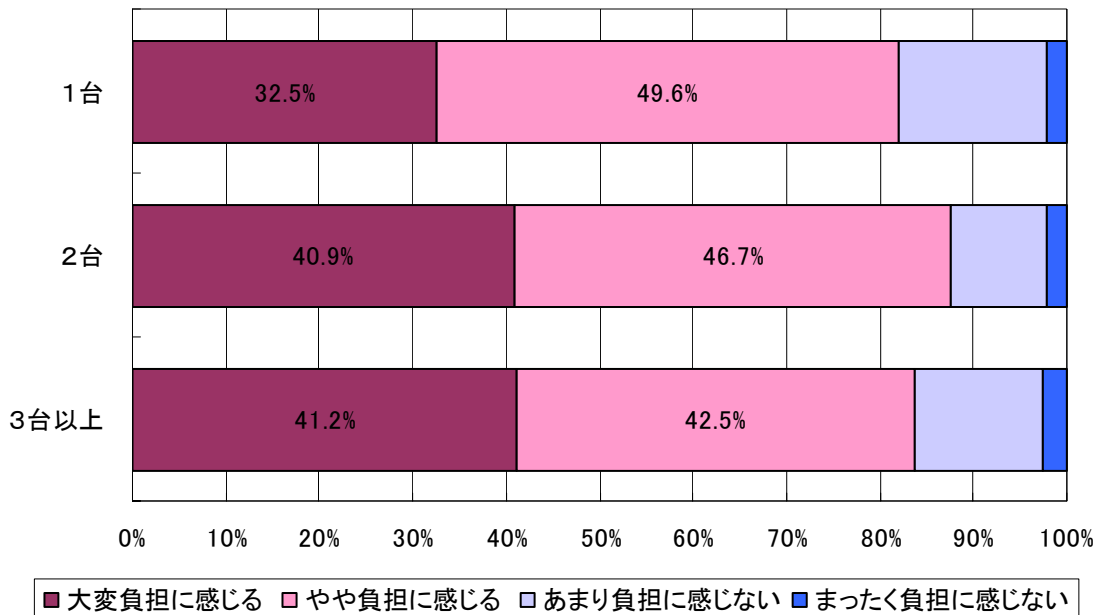
(2) 負担が増えたことによる車の使い方や普段の生活の変化

負担が増えたことにより『車の使い方が変わった』が46.8%、『車の使い方・普段の生活の両方が変わった』が23.9%と影響が日常生活にまで及んでいる。



(3) 保有台数から見た負担感

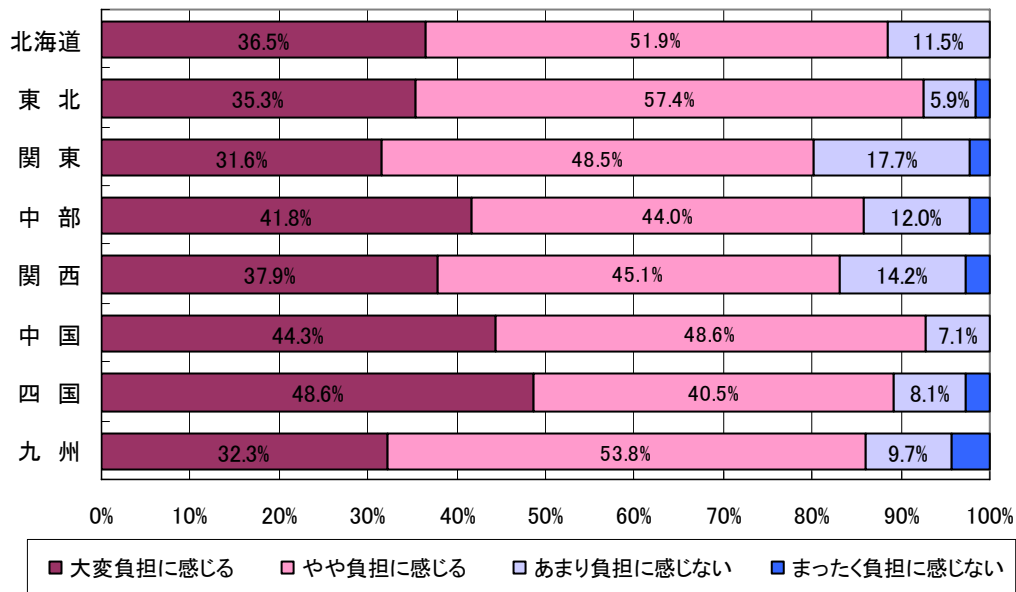
保有台数が多いほど、大変負担に感じる人の割合が高い。負担を感じている人の割合は保有台数に関わらず80%を超えており、自動車の保有・使用が家計の負担となっていることがうかがえる。



N=1285

(4) 地域別に見た負担感

『大変負担に感じる』『やや負担に感じる』と負担を感じている人は中国、東北地方で90%を超え、『大変負担に感じる』人は四国、中国、中部地方で40%を超えていた。



(5) 車の使い方・普段の生活の変化と併せて寄せられた意見

- ・ガソリンの高騰により基本的に車を使わない、よって、外出をしないと行った事です。また、自動車保有することで、車検、保険等の出費がかさむので、生活費を削減しなければなりません。〔福岡県 40代 男性〕
- ・生活に車が不可欠ですが、近距離については、自転車を利用する事を心掛けています。ガソリンの高騰、車税も大きすぎます。生活に直接響いてきているのが、実感です。〔北海道 50代 男性〕
- ・不要不急の時は絶対に乗らない。年金生活者には死活問題。〔兵庫県 60代 男性〕
- ・年収の大幅ダウンと、燃料費の高騰。さらに生活必需品の高騰などの複合条件により、車を維持するのがかなり困難になってきた。〔福岡県 40代 男性〕
- ・通勤で必須だし、妻が障害者なので変えようが無い。〔埼玉県 40代 男性〕
- ・ガソリンの値上がりにより、今の給料では生活が出来ない状況になってる。〔宮崎県 30代 男性〕
- ・2台所有していたが1台売却することとした。〔静岡県 30代 男性〕
- ・外食をなるべくしないようにしている。〔佐賀県 40代 男性〕

(6) 車の使い方や普段の生活において変化があった方の意見〔複数回答〕

○車の使い方に関するもの

- ・車をあまり使わなくなった 206件
- ・ドライブなど車で外出を減らした 175件

○燃料を節約する運転等、運転方法に関するもの

- ・燃料を節約する運転を心掛けるようになった 169件
- ・計画を立てて車を使用するようになった 24件

○交通手段の変更に関するもの

- ・徒歩や自転車の利用を増やした 233件
- ・公共交通機関の利用を増やした 89件
- ・軽自動車やバイクなど燃費の良い方の車両を利用 75件

○車の買い替え等、保有に関するもの

- ・燃費の良い車に買い替えた 19件
- ・保有台数を減らした 7件

○普段の生活の変化に関するもの

- ・節約に努めるようになった 46件
- ・外食を減らすなど支出を削減 23件